

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時:令和8年6月19日(木)

8:40~10:10

場 所:浜田市立松原小学校

対 象:6年生17名

指導者:6年生担任

埋蔵文化財調査センター

1 主題 古代の生活を知ろう～火起こし体験～

2 ねらい

- 古代の人々の生活の様子に関心をもつ。
- 火起こし体験を通して、古代人の生活について知り、古代人の生活への理解を深める。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
○あいさつ・自己紹介 5 分 ○座学 「学校の近くの遺跡を知ろう」 見学含め 30 分程度 (9:25 まで) ○火起こし体験 30 分程度 (10:00 まで) ○まとめ 5 分程度	○今日の学習の流れを確認しよう ○会場:6 年教室 (1)石見の由来 (2)学校周辺の遺跡(石見焼) PPT(埋セン職員) (3)児童による出土遺物見学 休憩、北校舎渡り廊下下に移動 ○会場:北校舎渡り廊下下 火起こし体験 (1)火起こし説明 (2)埋セン職員がデモ (3)子供たちがトライ(20 分) ○感想を言おう	・講師の紹介をする。 ・学習のねらいと内容を説明する。 ・遺物やパワーポイントなどの視覚的教材を使って児童の興味・関心を高める。 ・6つの班に分かれて活動する。 ・交代でトライ。 ・火が付いたらろうそくに移す。	

※ 準備する物

(学校) パソコン、プロジェクター(電子黒板)、遺物を展示する長机(2 台)

(児童) 体操服・筆記用具

(埋文センター) 火起こし道具 ろうそく、燭台、遺物、学習の資料、アンケート用紙等